

中央小学校だより



令和1年 9月 13日 中央小学校 学校通信

残暑なんかに負けない！ おいにせ！今の自分

2学期が始まったとたんに、すごい暑さ。日差しがギラギラして、まるで真夏の海岸にいるようです。こんな厳しい状況の中、熱中症に注意しながら取り組んでいる運動会の練習。子どもたちにとって本当に過酷でしょう。以前は2時間通しの練習は当たり前で、水分補給の時間も休み時間だけでした。全体練習を10時間ぐらい実施したり、低・中・高の表現はこれでもかというぐらい練習ができたりのものです。そのころに比べて、ここ4・5年の気候は本当に大きく変化しているのを感じます。子どもたちに無理をさせず、それでも運動会に来て下さるみなさんに拍手がもらえるような演技を行うために、子どもたち一人ひとりが気力と体力で頑張っています。

ここ2・3日、「外での運動は中止」というほど暑い日が続き、隊形づくりや移動の練習のみを行い、実際の演技の練習は体育館や視聴覚室で行ったりしています。1階の冷房が効く部屋を全開にして、外から戻って、暑くなった体を冷ましたり、ミスト扇風機をフル回転したり、気分が悪くなったら保健室ですぐに休ませたり、暑さと子どもたちの様子を見ながら練習を続けています。

ご家庭でも、お子さんの様子・体調には十分注意をしていただき、水分・栄養を取らせてあげてください。また、早寝・早起きをさせ、生活リズムを整え、睡眠時間は十分確保してあげてください。そして、今の自分を追いこした子どもたちの姿を、運動会当日、温かく見守ってあげてください。

応援合戦

ゴーゴーゴー（応援歌）

（赤組）

ぼくらは輝く 太陽のように
燃え上がる希望 力いっぱいがんばろう
赤 赤 赤 ゴーゴーゴー
赤 赤 赤 ゴーゴーゴー
燃えろよ 燃えろ 赤組

（白組）

ぼくらは白いいなづまだ 突き進む光の矢
雷をとどろかせ 元気いっぱいがんばろう
ゴーゴーゴー 白 白 白
ゴーゴーゴー 白 白 白
地球を回るいなづまだ 白組ゴー



かけ声や手拍子、ウェーブなど一生懸命練習しています。そして大きな声で応援歌も歌います。その様子を見ていると、きっと運動会当日も精一杯やってくれるだろうと、わくわくしてきます。本番まであと1週間、少しずつ出来上がっていく演技を観ているのはとても楽しく、そしてその元気はうらやましくもあります。がんばれ！中央小学校の子どもたち。

「全国学力・学習状況調査」の結果から

1. 学習の状況

※国語は全国平均を10ポイント上回りました。また、算数は5.4ポイント上回りました。

【国語】

特に、「話すこと 聞くこと」の領域では17.4ポイント上回っており、様々な場面で、相手意識・目的意識を持って話したり、聞いたりする積み重ねが結果につながったと考えます。

また、「読むこと」の領域では11.9ポイント上回っており。これは、目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む力や、文章の内容を的確に押さえながら読む力が身につけていると考えます。

「言語」に関しては8ポイント上回ってはいますが、漢字を文の中で正しく使うことについては課題があります。(調査のタイショウという漢字は、「対照」か「対象」か「対称」か)

【算数】

「数と計算」「図形」「数量関係」については概ね理解はできていますが「量と測定」の領域については0.3ポイント下回り、これは、資料の特徴や傾向を関連付けて判断する事や、図形の面積の求め方を解釈することを苦手としていると考えられます、数学的な考え方の力を伸ばすとともに、なぜその答えを導いたのかを記述する力を付けていかなければなりません。

2 生活の状況に関わって

- ・早寝・早起き・朝ごはんなど、おおむね規則正しい生活ができています。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」に対して肯定的に回答している児童はともに100%で全国よりも割合が高いです。しかし、「学校のきまりを守っていますか」に対しては約70%、全国と比べて約20%低く、これは、自分に厳しい部分もあるのかもしれませんが、善悪は理解しているものの、きまりを守れていないと感じている児童の割合が多いということです。きまりはなぜあるのか、どうして守らなければならないのかを児童会と連携して取り組んだり、道德の学習などを通して考えさせたりしていきます。
- ・読書に関しては、休み時間や休日に学校の図書館や地域の図書館に行く頻度は「月に1～3回以上行く」のは約30%程度で、全国よりも約10%低いです。残りの約70%の内訳をみると、約45%は「年に数回程度」で、約25%は「ほとんど、または、全く行かない」と答えており、図書に親しむ機会が少ないことがうかがえます。そのためか、「読書が好きですか」に肯定的な回答をしたのは約60%と、全国よりも約15%低い結果となっています。休み時間には外で遊ぶ児童も多いため、なかなか図書館に行く時間はとれないかもしれませんが、図書に親しむ機会を計画的に作ったり、授業での図書の時間を充実させたりしながら、「じっくり本を読むって楽しいな」という気持ちを持たせていきたいです。